

明るい未来の創造に向けて!

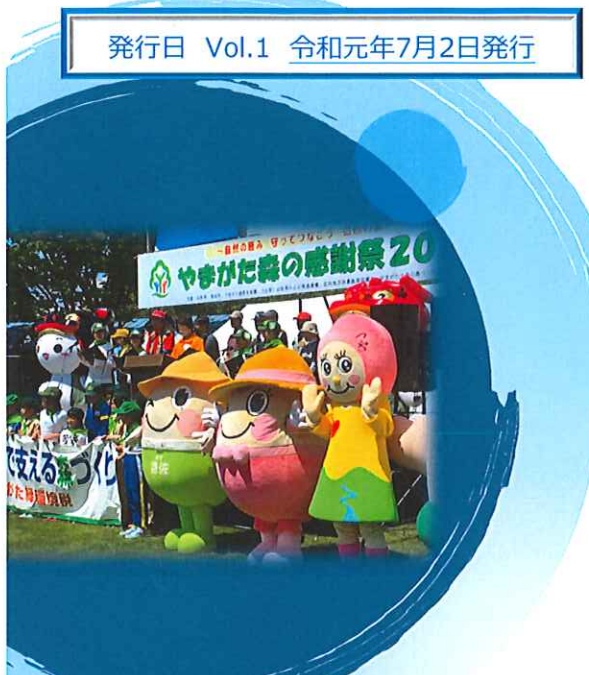
山形県議会議員(鶴岡市選挙区)

県政レポート



じゅん

山形県議会議員 高橋 淳



山形県議会議員 高橋淳

<山形県議会 所属委員>

- 農林水産常任委員会
- 産業振興・人材活用対策特別委員会
- 予算特別委員会

<各協議会等役職>

- ・庄内開発協議会 顧問
- ・山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会 顧問
- ・庄内空港利用振興協議会 顧問
- ・日本海沿岸東北自動車道等建設促進庄内地区期成同盟会 顧問
- ・山形県港湾協会 顧問
- ・出羽三山地区観光開発促進期成同盟会 顧問
- ・赤川治水対策・月山ダム管理協議会 顧問
- ・月山地区地すべり対策促進協議会 顧問
- ・国道345号(温海・遊佐)整備促進期成同盟会 顧問
- ・鶴岡藤島間道路建設促進期成同盟会 顧問

<各協議会等参与>

- ・山形県日中友好協会 参与
- ・石巻・酒田間地域連携強化促進協議会 参与 他

<その他>

- ・山形県「森林・林業・林産業活性化促進議員」連盟
- ・山形県私学振興議員連盟
- ・宮城県議会・山形県議会交流議員連盟
- ・山形県議会難病等対策推進議員連盟会員 他

発行元:高橋淳 事務所

〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡100-1
 TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732
 Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

◆山形県議会6月定例会閉会 /山形県沖地震被災者へのお見舞い

本日(7月2日)、20日間の会期を終え、山形県議会6月定例会が閉会致しました。6月は県議会定例会に加え、寒河江・白鷹地域等での降雹・強風等(6月5日)による農林水産被害、それに山形県沖を震源とする地震(6月18日)により、庄内地方に大きな被害が発生いたしました(翌日、県政クラブで鶴岡市・酒田市への現地調査を実施)。被害に遭われた方々へのお見舞いと一日も早い復旧・復興が図られるよう山形県としても6月補正予算(追加)、国への要請、各行政等との連携・協力を進めていく考えです。



◆農林水産常任委員会における高橋淳の質問内容(一部抜粋)

- 降雹被害等による被害状況の最終見通しと、山形県としての予算はどのように考えているのか。合わせて、山形県沖による地震被害による農業被害対策等の考え方について。
- 令和元年度における、つや姫・雪若丸の販売戦略について。主食用米の需給見直しを含め、今年度、どのような販売戦略を行っていくのか。
- 海外への農畜産物の輸出の見通しについて(※山形新聞に掲載されています)。
- 庄内地方を中心に松食い虫の被害量は依然として高い水準が続いているが。
- 土地改良区事業について、ここ近年は予算の増加に伴い、採択地区数や予算は増えているものの、まだ地元の要望通りにはいかない現状である。山形県としては、時間のかかるフル整備ではなく、簡易な圃場整備をモデル地区に設けて進めようとしているが、予算の振り分けはない状況。今後どのような方向で農家の未来像を考えているのか。
- スマート農業の実証実験が始まっているが、農地の大区画化と同時に、スマート農業の一貫であるICTを活用した水管理も併せて整備することで大幅な省力化が期待される。農業県として先進的な技術を積極的に推進してほしい。

◆議会レポートあとがき

昨年度の2018年1月現在による日本の人口は9年連続減となり、今年度も大幅な減少が予想されます。平成から令和となり、誰もが経験したことのない人口減少社会に突入しています。国際連合広報センターのプレスリリース(2019/7/2)では、世界人口は現在の77億人から2050年の97億人へと、今後30年で20億人の増加となる見込みです。また、2010年以来、27の国と地域で人口が1%以上の減少を示しています。この人口減の原因として、低い出生率が続いている点が挙げられます。人口減少が県政の最重要課題であるという認識に立ち、「明るい未来の創造」に向け、誠心誠意「考動」と「行動」を図ってまいります。

☞ いよいよ山形県初のLCC、ジェットスターが8月1日より新規就航となります。所要時間は、ANA利用が優位であるものの、JJP利用との差は約30分であり、運賃は、JJP利用が圧倒的に安価であります。宿泊を含めた比較でも、料金はJJP利用が安価となっています(往復運賃+都内宿泊費 18,925円)。ちなみに首都圏各地へのアクセスも抜群です! 気軽に快適な旅へお出かけください♪

